

# 児童生徒に1人1台端末を配備します



タブレット端末を使った授業の様子



意見の発表もタブレット端末からできる



カメラ機能を使って理科の実験を撮影

市は、市立の小中学校と特別支援学校で、児童生徒が1人1台のタブレット端末を使える環境を整備します。端末の配備は今年度中を目指します。今回号では、タブレット端末の配備や学校での活用方法などについてお知らせします。問い合わせは、端末の配備については教育総務課（☎321-1291）へ、活用方法・教職員研修については学校教育課（☎321-1293）か教育センター（☎329-7111）へ。

## 端末の活用方法が決定

児童生徒に1人1台の情報端末を早期導入する、国の「GIGAスクール構想」。これを受けて市は、8月に「高崎市GIGAスクール研究会」を設置し、端末の活用方法や導入後の留意点について、専門家を交えて議論してきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン授業についても研究していく必要があることから、現場の先生たちによるワーキング

グループを立ち上げ、学校の授業や休校中の具体的な活用方法を検討。その結果、タブレット端末の活用方針がまとまりました。

## タブレット端末約3万台 年度内の配備を目指します

市は、市立の全小中学校と特別支援学校に必要なタブレット端末約3万台を、今年度内に配備する予定です。ネットワークの整備など、タブレット端末を学校で利用できる環境も整えていきます。

## タブレット端末の活用方針

●児童生徒の学習への興味・意欲・関心を高める情報収集、資料の共有や意見発表など授業中の学習を支援

- ・カメラ機能を使い、実際に撮影する
- ・資料をプロジェクターなどで投影しながら説明する

●課題配布やポイントの解説など休校中の家庭学習を支援

- ・重要なことを伝え、手本を示す
- ・解き方を示しながら説明する

活用事例集の作成や学校・家庭で安心して使うためのルール作り、教職員への研修の実施などにも取り組んでいきます

## ワーキンググループに参加した先生に聞きました

### 授業での意見発表や学習のフォローに



上郊小教務主任 井本 利子さん

タブレット端末を使うことで授業がスムーズに行えます。子どもたちの発表内容の集約やクラス内での共有、先生からの回答などに使っています。他にも、花や虫を撮影して観察に役立てたり、ス

ピーチを録画して見返したり。学校が休校になったときには、タブレット端末で課題を出して、進み具合を確認して個別にフォローするといったことも考えられますね。ワーキンググループでは、こうしたタブレット端末の効果的な使い方について議論し、活用例としてまとめました。今後も使い方を研究して、タブレット端末を子どもたちの学習に役立てていきます。